

令和4年度

虹の坂通信



呉市立昭和南小学校
学校通信 第21号
令和4年11月18日

南っ子探検集会に向けて

木曜日に、代表委員会が開かれました。議題は「南っ子探検集会について」です。各委員会の委員長と、各学年2名の代表が参加しました。もちろん1年生もです。

司会や運営は、ふれ合い企画委員会の5・6年生が行いました。最初に、提案が書かれた議題書を各自で読んで質問がないか考えました。その後で、各委員会が行うゲームを委員長が説明し、各学年の代表から質問が出され、それに委員長が丁寧に答えていました。ふれ合い企画委員会のメンバーが周りに立っていて、低学年にも優しくフォローしていました。先生が出て行く場面は全くなく、子どもたちだけで会がスムーズに進行されました。実は、ふれ合い企画委員会は前日にリハーサルと会場づくりをしていました。そのおかげです。みんなの力で楽しい集会にきつとなります。

自分や誰かを守るため

5年生を対象に、応急手当講習会が行われました。講師は、呉市西消防署昭和分署の消防士さんです。

まず、自分たちの体の仕組みや臓器の役割などの説明がありました。その後で、出血や骨折、やけどをしたときの応急処置について説明がありました。ぼうこうに溜められる尿の量は500mlで、1日に1.5Lの尿が出るなど、クイズ形式で具体的な内容のため、5年生の子どもたちは、みんな驚いたり、クイズに正解して喜んだり、楽しみながら学ぶことができました。

消防士さんが、子どもたちに繰り返し言われていたことが、「絶対に子どもたちだけで危険な場所に行ったり、危険な行動をとったりしてはいけない」「自分や友だちがケガをするなど困ったときは、自分たちで何とかしようとせずにすぐに大人を呼ぶ」ということでした。最近の講習では、心肺蘇生法は中学生になってから実技を行い、小学生には「大人を呼ぶ」ことを指導しているそうです。大切なことをしっかり学ぶことができました。



全学年の代表が集合



1年生に優しく説明



まずは自分の体について学習



5cm圧迫する強さで